

正しい使い方
安心・快適な
ガスライフ!

安心は、みんなの協力から生まれるんだね!

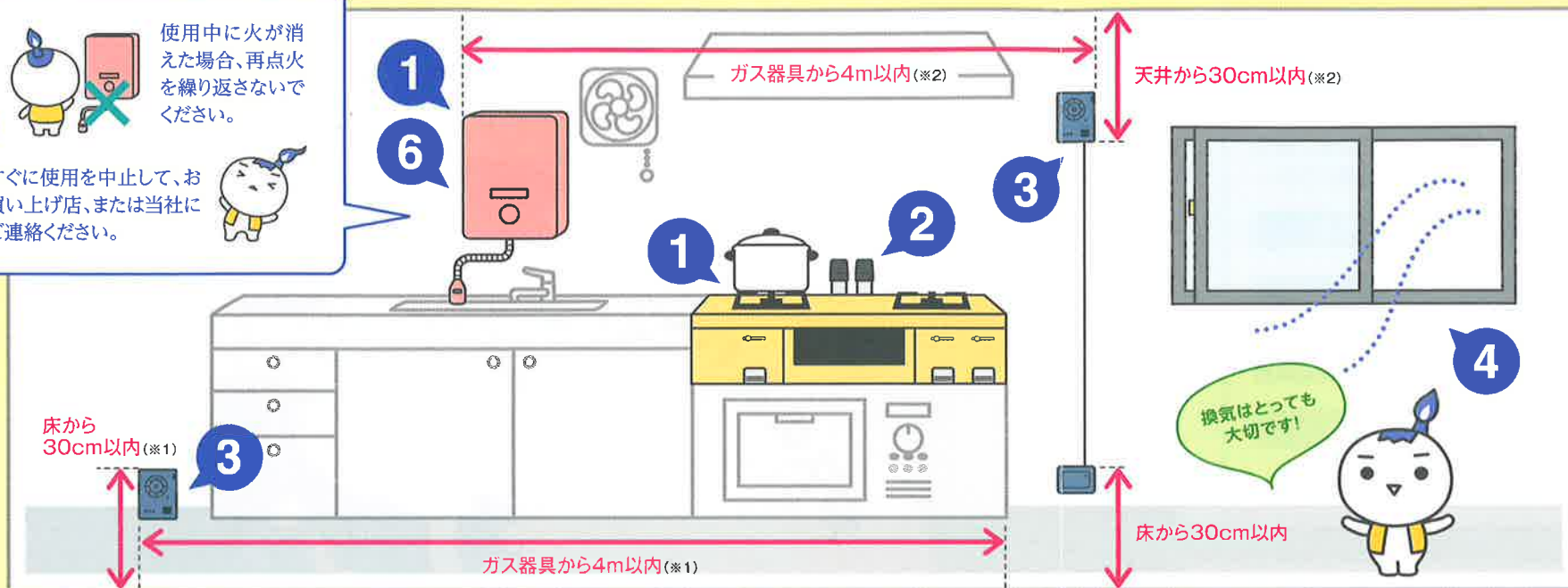
6

換気が十分でも使用中に火が消える場合は、不完全燃焼している恐れがあります。

使用中に火が消えた場合、再点火を繰り返さないでください。



すぐに使用を中止して、お買い上げ店、または当社にご連絡ください。



床から
30cm以内(※1)

ガス器具から4m以内(※1)

ガス器具から4m以内(※2)

天井から30cm以内(※2)

床から30cm以内

換気はとっても
大切です!

(※1) ガス警報器の場合 (※2) 複合型警報器の場合

排気筒トップ
5

換気口
排気筒

逆風止め

給気口

1 お使いのガス器具について

ガスの種類をお確かめください

- 当社が供給しているガスはLPガスです。
- お持ちのガス器具がLPガスに合っているか器具の「ガス種表示」をお確かめください。
- 適合しないガス器具は絶対使用しないでください。
- ガスの種類はガス器具に貼付してある銘板や使用説明書に表示されています。

表示例

〇〇〇-△△△ ←ガス器具の型式名
LPガス用 ←適合するガスの種類
12kW ←ガス消費量
07.6-0001 ←製造年月・製造番号
〇〇〇株式会社 ←製造事業者名

チェック
ポイント!



正しいのは青くきれいな炎です

- 「着火」「消火」を目で確認することを習慣づけましょう。
- 衣服の袖など燃えやすいものは近づけないよう注意してください。
- 炎のあふれ・器具の変色・異常な過熱があるときは器具の故障です。すみやかに点検・修理をお願いします。

チェック
ポイント!

○



×



器具はこまめに点検・お手入れを

- ガス器具は、使用説明書をよくお読みになってからご使用ください。使用説明書は保存してください。
- コンロのバーナーはワイヤーブラシで、ストーブの赤熱部は掃除機や歯ブラシでお掃除を。



安全型ガス器具が オススメです



● Siセンサーコンロ

全てのバーナーに天ぷら油の発火を防ぐ「天ぷら油過熱防止装置」、吹きこぼれなどで火が消えた場合にガスを止める「立ち消え安全装置」、火の消し忘れ時に自動消火する「コンロ・グリル消し忘れ消火機能」が標準搭載されています。

● 不完全燃焼防止装置付ガス小型湯沸器

ガスが不完全燃焼すると自動的にガスを止め、一酸化炭素(CO)中毒事故を防ぎます。

2 ガス栓について

ゴム管のガス漏れは石けん水で確認

- 筆に石けん水を含ませてゴム管に塗り、泡が出るかどうかでわかります。
- ゴム管は検査合格表示のあるものを使用し、ガス栓の赤い線まで差し込み、安全バンドで止めましょう。
- ゴム管のお取替えの目安は約3年です。

オススメです

● ヒューズガス栓

ゴム管が切れたりはずれたりしてもガスを自動的に止められる安全なガス栓です。



3 警報器取付けのお願い

ガス警報器で安全確保

- 24時間ガス漏れを見張るガス警報器に加え、不完全燃焼で発生した一酸化炭素の検知機能、さらに火災警報機能を備えた「複合型警報器」もあります。
- 交換期限(5年)が過ぎる前にお取替えが必要です。ご不明な点がございましたら、当社にお問い合わせください。



4 室内換気について

換気はいつでも十分に

- 湯沸器や暖房器具をお使いになるときは、時々窓を開け、新鮮な空気をとり入れましょう。
- 小型湯沸器をシャワー・お風呂・洗濯機への給湯に使わないでください。

5 排気筒式風呂がまをご使用のお客様へ

排気筒の鳥の巣にご用心

- 排気筒トップに鳥が巣を作っていないか確認してください。
- 時々点検をし、穴あきやはずれがないか確認してください。
- 燃えやすいものを近づけないでください。
- 給気口がふさがらないよう、周りには物は置かないでください。
- 風呂がまのお取替えの際は、より安全性の高い屋外式または密閉式をおすすめします。

6 小型湯沸器をお持ちのお客さまへ

火が消えたら

下記の現象が現れた場合は、継続して使用すると不完全燃焼による一酸化炭素中毒の恐れがあり、大変危険です。ただちに使用を中止してください。

- 換気が充分でも使用中に火が消える場合(不完全燃焼している恐れがあります)。
- ご使用中、火が消える場合(安全装置が作動している可能性があります)。
- 前板の塗装がすすで黒く変色した場合。
- その他、ご使用中に不快な臭い、炎のあふれ、機器本体の異常な過熱などがある場合。

ガスの特殊な使用について

炉・ボイラーなどの大型ガス器具を使用されたり、特殊なガス器具の設置・撤去をする際は事前に当社へご連絡ください。